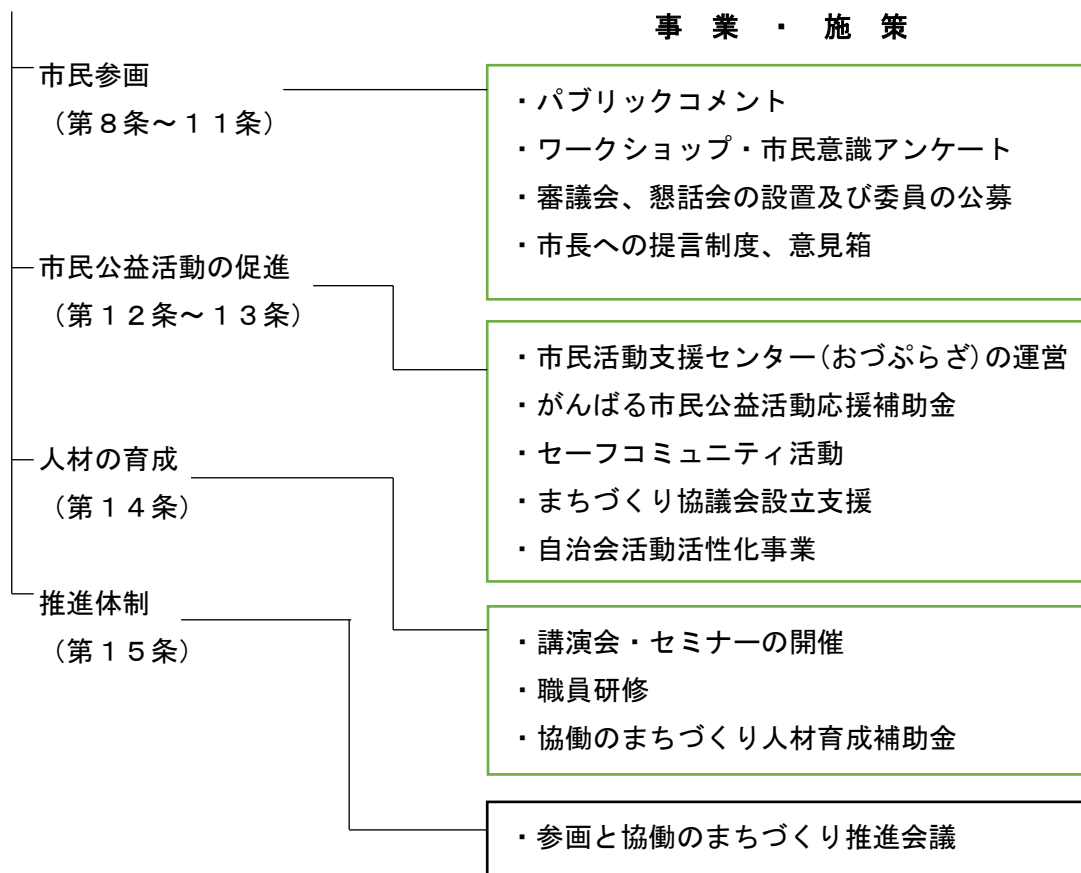


## 条例と事業・施策の関連

### 資料 1

#### 泉大津市参画及び協働の推進に関する条例

##### 市の役割 (第7条)



#### 泉大津市がんばろう基金条例

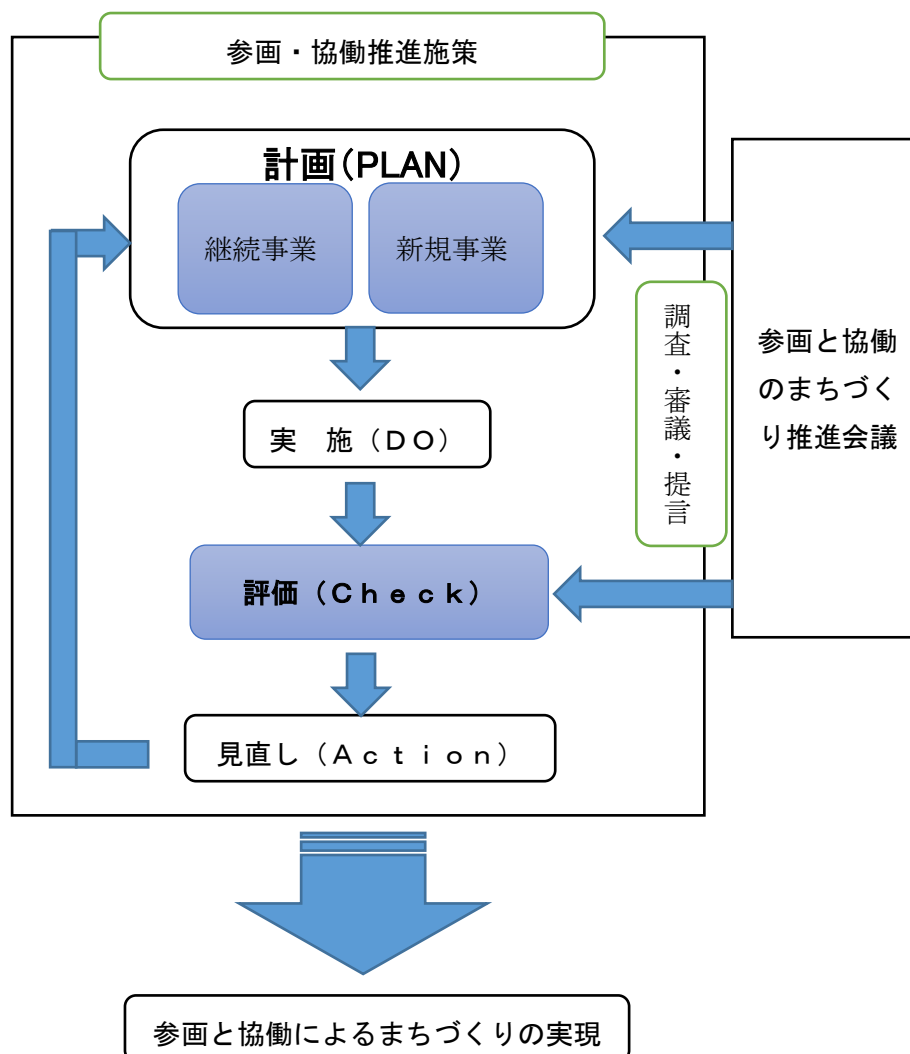
- ・泉大津市がんばろう基金の運用

## 参画と協働のまちづくり推進会議について

「泉大津市参画及び協働の推進に関する条例」第15条に基づき、参画と協働のまちづくりを推進するため、学識経験者、市民公益活動団体の代表、公募市民、各種団体等からなる推進会議を設置し、次の内容について調査、審議をする。また、その結果を市長に提言することができる。

(調査・審議する内容)

- 1、この条例の改正又は廃止に関する事
- 2、参画と協働のまちづくりの推進に関する取組状況に関する事
- 3、その他、参画と協働のまちづくりの推進に関する事



## 泉大津市第4次総合計画の2つの基本施策（抜粋）

基本施策	めざす姿
1「参画と協働」	<p>《市民が主体に活躍できるまち》</p> <p>市民の意見を市政に反映する場や機会が充実しており、市民と行政の信頼関係から生まれた協働の考え方のもと、それぞれの役割や責任に応じた行動により、まちづくりが行われています。また、様々なテーマで活動する市民活動団体がまちづくりの担い手として活躍しています。</p>
2「地域コミュニティ」	<p>《地域がつながり地域で課題解決できるまち》</p> <p>世代を超えた交流により、地域コミュニティが生まれ、程よい距離感で、顔見知りの関係が築かれています。地域活動のネットワーク化やリーダー育成などにより、身近にある課題を地域で解決できるまちとなっています。</p>

施策の展開方法	具体的な取組内容
<p><b>①市政への市民参画の推進</b></p> <p>市の計画や施策に市民の意見を反映させるため、市民が意見を述べる機会を充実します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○パブリックコメントの実施等意見聴取機会の充実</li> <li>○計画づくりに関する審議会等への市民の参画機会の充実</li> <li>○市民参画についての意識啓発</li> </ul>
<p><b>②市民協働の推進</b></p> <p>市民が地域のために行う公益的・自主的な取組を支援し、市民と行政の協働を推進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民活動団体等が地域の課題を自主的に解消するための取組に対する支援</li> <li>○市民との協働によるイベントの実施</li> <li>○市民活動拠点の充実</li> <li>○市民活動団体の情報収集と発信</li> <li>○泉大津市がんばろう基金の運用</li> </ul>
<p><b>③地域コミュニティのネットワーク化の促進</b></p> <p>地域団体同士や各種団体のネットワーク化を促進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域団体とNPOや企業、大学などとの連携の推進</li> <li>○小学校区を単位とする地域協議会の組織化の推進</li> </ul>
<p><b>④地域コミュニティに対する意識の醸成と支援</b></p> <p>市民と職員が共に地域のつながりの大切さに対する認識を深めるための施策を推進するとともに、地域コミュニティの活性化に向けた支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民・職員に対するセミナーや講演会等の開催</li> <li>○地域におけるリーダーの育成</li> <li>○自治会の加入促進などのコミュニティ活性化の取組に対する支援</li> </ul>

成果指標

基本施策	成果指標	単位	現状値	現状時点	目標値 H31年	目標値 H36年	アンケート設問及び 算出方法
<b>1.力を合わせて市民の笑顔があふれるまちづくり</b>							
市民参画・協働	地域活動やボランティア活動が活発なまちだと思ふ市民の割合	%	51.8	H26年度	60	70	『地域活動やボランティア活動が活発なまちだと思ふ』の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合
	市政への市民参画の機会が増えたと思ふ市民の割合	%	44.6	H26年度	55	60	『市政への市民参画の機会が増えたと思ふ』の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合
	市民活動団体として登録している団体数	団体	9	H26年度	50	100	市民活動団体登録制度への登録団体数
地域コミュニティ	地域の中で人のつながりがあると思ふ市民の割合	%	59.9	H26年度	65	75	『地域の中で人のつながりがあると思ふ』の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合
	地域活動の中心となるリーダーが育っていると思ふ市民の割合	%	35.9	H26年度	45	60	『地域活動の中心となるリーダーが育っていると思ふ』の設問に対し、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答した市民の割合

## 市民参画（第8条～第11条）

### ▶パブリックコメントの実施（継続）

提出方法・・・郵送、ファックス、電子メール又は担当課に持参

周知方法・・・広報紙、ホームページ、フェイスブック及び市内各公共施設等に意見書募集箱を設置

【平成29年度実績】（※昨年度実績2件）

計画・条例等名称		募集期間	提出人数	意見件数	担当課
1	泉大津市公共施設等適正配置基本計画	3月24日 ～4月24日	10	30	総務課
2	泉大津市都市計画マスタープラン	12月19日 ～1月9日	2	7	まちづくり 政策課
3	第4次泉大津市地域福祉計画・第3次泉大津市地域福祉活動計画	12月27日 ～1月19日	1	3	高齢介護課
4	泉大津市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画	12月27日 ～1月19日	2	4	高齢介護課
5	泉大津市国民健康保険特定健康診査等実施計画	12月27日 ～1月19日	1	4	保険年金課
6	第5期障がい福祉計画及び第1期障がい児福祉計画	12月27日 ～1月19日	3	4	障がい福祉課

### ▶市長への提言制度（継続）

【平成29年度実績】

- ・調査日程 平成29年6月1日（木）～16日（金）  
※広報いずみおおつ6月号紙上に応募用紙を掲載
- ・対象 本市市民
- ・回収数 66通108件（※昨年実績75通、106件）

内 容	件数	
	H29	H28
<b>市政全般について</b> (市議会議員定数、企業誘致、水道料金、おづみんの活用など)	20	29
<b>駐輪場・道路整備・交通安全など</b> (道路整備、駐輪場、信号機の設置、交通ルールなど)	13	20

<b>環境について</b> (ごみの分別収集、ごみ袋、環境保全、落書きなど)	15	17
<b>高齢者福祉・生活保護について</b> (ふれあいバス、タクシー券など)	8	7
<b>学校・幼稚園・保育所・認定こども園について</b> (学校給食、学校教育、学校設備、など)	15	6
<b>市立病院について</b> (心療内科の設置、民営化など)	2	6
<b>公園・プールについて</b> (公園の整備、新しい遊具の設置、穴師プールなど)	5	5
<b>市の施設・設備について</b> (市民会館の跡地利用、テクスピア大阪利用料金、長寿園など)	16	5
<b>子どもの福祉、子育て環境について</b> (保育料、子ども医療費助成など)	6	3
<b>市などのイベントについて</b> (楽しいイベントを実施してほしいなど)	1	3
<b>職員について</b> (市職員数、再任用職員、職員の対応など)	7	2
<b>分類不可</b>	0	1
計	108	106

【年齢別】

年齢	件数	(※昨年)
10代	0	0
20代	1	0
30代	9	8
40代	4	6
50代	4	1
60代	6	8
70代	13	13
80代	3	6
90代	1	2
未記入	25	31
計	66	75

▶**広報モニター制度 (継続)**

「広報いずみおおつ」をはじめとする市の広報活動に市民の意見を取り入れ、よりわかりやすく、より充実した内容にするため、広報モニターを設置している。

■平成29年度登録者数 41名

【内訳】

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男	0	0	1	0	0	0	1	0	2
女	0	4	18	13	0	3	1	0	39
合計	0	4	19	13	0	3	2	0	41

会社員・自営業8、主婦14、学生1、無職3、その他(パート等)15

■任期 平成29年4月1日～平成30年3月31日

■モニターアンケートの実施方法について

- 毎月1回実施。
- 毎月5日ごろにアンケートを依頼。(郵送、メールのいずれか)
- その月の20日までに回答をもらう。(郵送、メール、ファックスのいずれか)
- 翌月の5日までに結果をまとめ、毎月、モニターにフィードバックするとともに、市ホームページにも掲載する。
- 常にアンケート結果を参考にし、できるものは、随時取り入れていく。

■アンケート項目について

**毎月**

- 全体で興味を引いた記事について理由とともに聞く。
- 全体で読みづらい記事、分かりにくい記事があったか理由とともに聞く。
- 特集記事全般について意見を聞く。
- 特集記事の中で、意見を聞きたい記事をいくつか選び、内容がわかりやすかったかなど掘り下げて聞く。
- 連載記事や、コーナーについては、順番に選び意見を聞く。
- もっともよかった写真を聞く
- まちの話題については、写真や文章、レイアウトなどについて意見を聞く。
- そのほか、気づいた点や感想などを自由記述で聞く。

**単発**

- 広報紙以外の広報活動について意見を聞く。
- 特集記事や情報かわら版など、掘り下げて意見を聞く。
- 年度末は、取組についての評価をしてもらう。

■お礼 モニター登録者へは一人1,000円程度の品を進呈予定。

■これまでの成果

モニターアンケートで得られたご意見をもとに、見やすく、わかりやすい広報紙をめざし、その都度改善を加えている。

○情報の集約（子育て記事の「子育て広場」への集約。仕事、労働関係記事の集約など。）

○目次の掲載

○QRコードの活用。（ホームページへの誘導）

○アンケートで指摘を受けた見づらい箇所は、随時修正を加えている。

○広報紙で紹介した夏休み、冬休みのイベント記事を集約し、ホームページのトピックスで掲載

○文化フォーラムついていただいた意見を参考に講師依頼を行った。

○まちの話題のページをカラーに変更

○図書館だよりで紹介する本の冊数を3冊から6冊へ

■今後について

モニターのご意見が非常に役立っていることから、平成30年度も新たに広報モニターを募集し、同様に進めていく予定。

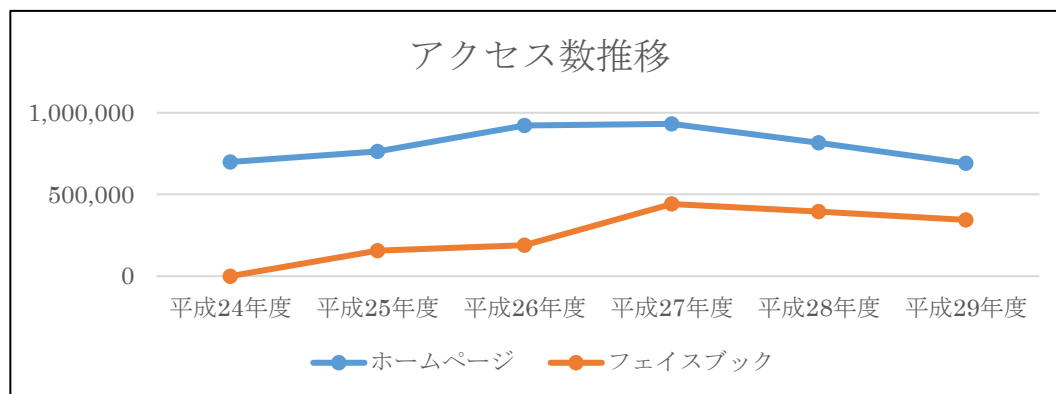
▶ホームページ・フェイスブック（継続）

ホームページは平成25年4月にリニューアルを実施し、また同時期にフェイスブックの開設も行った。平成28年度から平成29年度にかけて若干、アクセス数は減少傾向にある。

	ホームページ	フェイスブック
平成24年度	699,346	—
平成25年度	764,172	156,486
平成26年度	922,424	188,581
平成27年度	932,161	441,349
平成28年度	816,725	395,060
平成29年度	690,505	344,221

(※平成29年度は4月から1月末まで)





▶市民出前講座（継続）

本市の施策や事業・制度などについて市職員が指定の場所に出向き、説明会を実施。

【平成29年度実績】※平成29年12月末時点

内 容	回数
消防訓練	75
救命実技	27
健康づくり講座	14
防災出前講座	12
写生会	8
「ごみの分別・資源リサイクル」についてのミニ講座	21
椅子に座ってできる運動	1
健康講座「インボディ測定」	3
この指と一まれ！！	4
認知症予防について	2
親子広場たんぼっぼ「栄養・歯科・発達相談」	7
保育研究会「発達について」	2
ファミリー・サポート・センター講習会	2
健康教育「高血圧の予防について」	3
楠小学校「発達に係る子育て相談会」	3
泉北3市1町就学前支援教育研究会	2
その他	25
合 計	211

## 市民公益活動の推進（第12条～第13条）

### ▶市民活動支援センター（おづぶらぎ）運営（継続）

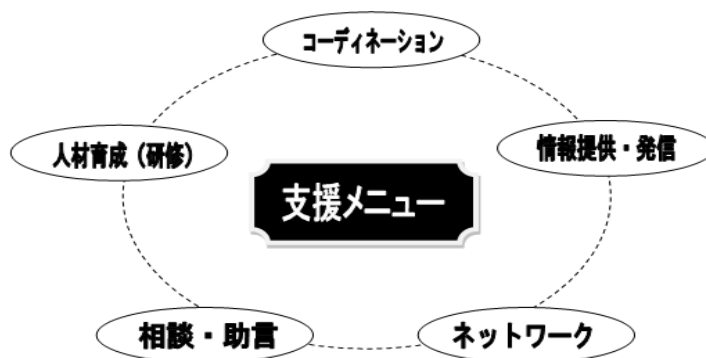
#### 【設置目的】

市民の自主的で営利を目的としない公益性のある活動を支援し、市民と行政との協働のまちづくりを推進することを目的に設置する。

#### 【設置根拠】

泉大津市参画及び協働の推進に関する条例第13条第3号

#### 【センターの機能】



#### （機能1 情報提供・発信）

情報誌（センターだより）やホームページなど多様な媒体を活用し、団体紹介、イベント紹介、補助金情報など市民活動に関する情報を提供する。

#### （機能2 相談・助言）

ボランティアがしたい、活動を始めたい、NPO法人になりたいがどうすればいいかなど、何か困った時に適切に相談・助言をおこなう。

#### （機能3 コーディネーション）

個人と団体、団体同士、団体と事業者などをつなぐ。

#### （機能4 ネットワーク）

市民や団体が交流する場所や機会を提供し、自らがつながるきっかけづくりをする。

#### （機能5 人材育成）

市民活動に関心のある市民や団体に対して、学習の機会を提供する。

【運営概要について】

- ・ 運営方式  
公設民営
- ・ 受託団体  
NPO法人いずみおおつ市民活動ネット
- ・ 事務局体制  
センター長1名、事務員2名（以上、正職員） 非常勤職員3名 計6名
- ・ 設置場所  
テクスピア大阪5階

○開所以来の概要

平成27年1月15日の開所から約3年が経過したが、その間に下記事業を着実に遂行し、センターの周知と利用登録団体の支援に努めている。また、受託団体である「いずみおおつ市民公益活動推進協議会」が平成28年度末にNPO法人化し、「NPO法人いずみおおつ市民活動ネット」となっている。センター運営や市民活動団体の活動の現況に関するアンケート調査を実施するなど、団体から信頼されるセンターを目指して、さらなる取り組みを推進している。

○事業について（平成29年4月から平成30年1月の実績）

項 目	事 業 項 目
情報提供・発信	① センターニュース「おづぷらざ」の発行 計4回 ② ホームページ・ブログの更新（月3回程度更新） ③ 利用登録団体一覧表（団体住所録）の発行
相談・助言	④ 相談対応 計30回（平成29年4月から平成30年1月まで）
コーディネーション	⑤ 特技を持つ登録個人ボランティアを団体に紹介 泉大津市青年会議所にパネリストの外国人ボランティア紹介
ネットワーク	⑥ 井戸端会議の開催 計3回 ⑦ まなび愛広場の開催 計2回 ⑧ 交流フェスタの開催
人材育成	⑨ セミナー・講座の開催 計5回

## ○実績について (平成29年4月から平成30年1月の実績)

項目	28年度	29年度	内容
開館日数	246日	245日	開所日：木曜～火曜日 祝日及び年末始を除く 9:30～17:15
利用者数	1,317人	1,233人	来所者数
機材利用	296件	441件	センター内の印刷機等の機器利用数
会議室利用	69団体	50団体	会議スペースの利用団体数
ロッカー利用	7団体	6団体	貸出用ロッカーの利用団体数
メールボックス利用	11団体	10団体	貸出用メールボックスの利用団体数
利用登録団体数	87団体	99団体	センター開所からの累計 (登録廃止除く)

## 1. 情報提供・発信

## ①センターニュースの発行

情報発信媒体として年4回発行する。これまでに平成29年6月、9月、12月の計3回発行し、最終号を平成30年3月に発行する予定である。内容は、スタッフが現場で取材を行った団体の活動の紹介記事やセンターで実施した事業の報告及び今後のイベント等の告知などである。読者に興味を持ってもらい、団体活動の励みやセンターの機能の周知につながるよう紙面を工夫し、編集技術の向上に努めている。

## ②ホームページの開設

センターのホームページに、センターの利用案内や団体の登録情報を掲載している。また、団体を実施するイベント情報など即時性が必要なものはセンターがブログにより情報発信を行っている。センターのブログとホームページはリンクしており、ブログをアップするとホームページ上で「新着情報」となるよう機能の充実を図っている。

## ③「利用登録団体一覧」の発行

センター利用登録団体間の交流を目的として、コミュニケーションの利便を図るため、団体を活動分野別に分類した住所録を作成し、団体に配布している。平成29年度からは団体の活動が把握しやすいように団体の連絡先に加え、主な活動内容も記載している。

## 2. 相談・助言

## 相談窓口の開設

市民、団体からの市民活動に関する問い合わせや相談等に対応するために相談窓口を開設しており、センター窓口の他、FAXやホームページからの問合せフォームを介して、団体結成や会則の作成に関するもの、活動の場所やイベント実施に関するもの、人材の紹介依

頼など多岐にわたる相談に応じている。

### 3. コーディネーション

#### 個人ボランティアの登録と紹介

活動の活性化と支援を目的に、利用登録団体の募集ニーズに応じてセンターで登録している個人ボランティア（平成30年1月末現在21名）を紹介している。

平成29年度においては、団体の取組みを紹介する紙芝居の作成を希望する団体に対し、イラスト作画の特技を持つ個人ボランティアの紹介を行ったことで、団体の要望を超えるクオリティーで紙芝居が作製できた。

### 4. ネットワーク

#### ①まちづくり井戸端会議

市内で活動している団体や市民が、自由に意見を述べ、情報交換できる場を提供することで、個人や団体のネットワークを形成することを目的として年3回開催した。

実 施 日	参 加 者
平成29年 5月19日（金）	11名
平成29年 9月9日（土）	12名
平成30年 1月20日（土）	6名

場所：市民活動支援センター 開催時刻はいずれも14時～16時

#### ②まなび愛広場

市内で活動している団体にその活動を発表してもらうことで、当該団体の活動の意義を理解するとともに、活動の喜びや悩みをテーマとした意見交換によって団体相互の理解を深め、新たなネットワークを形成することを目的として、年3回開催した。

実 施 日	参 加 者
平成29年 5月28日（土）ねころじの会	8名
平成29年11月16日（木）リアライズ	16名
平成30年 3月3日（土）自主防災ネット松之浜	17名

場所：市民活動支援センター 開催時刻はいずれも14時～15時30分

#### ② 交流フェスタ（おづぶらぎフェスタ）の開催

市民活動団体の活動等を広く市民に発信し、団体同士の交流及びネットワーク形成の促進を図ることを目的にフェスタを実施している。今年度は参加団体が増加したことに伴い、昨年度より会場と期間を拡大してテクスピア大阪1階小ホールと隣接する織編館ギャラリーを使用し、活動紹介パネル展と舞台発表及び活動体験を平成30年3月22日から27日まで開催する予定である。

事業名	おづぷらざフェスタ
日時	パネル展 3月22日(木)～27日(火) 6日間 舞台発表・活動体験 3月25日(日) 1日間
場所	活動紹介パネル展 テクスピア大阪1階ギャラリー 舞台発表・活動体験 テクスピア大阪1階小ホール
参加団体	41団体(市民活動団体39、自治会・老人会2)
内容	活動紹介のパネル展示、舞台発表、活動体験コーナー

## 5. 人材育成

講座の開催 計5回

市民及び市民活動団体に対し、活動のスキルアップや意識啓発を行うことを目的として次のとおり各種講座を実施した。(開催予定を含む)

### ●プレゼンテーション関連講座

市の「がんばる市民公益活動応援補助金」交付申請団体のプレゼンテーションや団体の各種発表の場におけるテクニック習得とスキルアップを目的として実施。

### ●災害ボランティア入門講座

近年の地震や豪雨など、たび重なる災害の現場で活躍する災害ボランティアから災害現場の実態や被災地で活動する前の準備や心構えを学ぶことで、人を助ける心と防災意識の向上を目的として実施。

### ●認知症サポーター講座

社会福祉協議会と連携して実施する講座で、来るべき高齢化社会に向け、市民・団体に認知症を正しく理解してもらうことを目的として実施。講習後にオレンジリングを付与。

### ●展示物デザイン講座

おづぷらざフェスタのパネル展示物の作成を主眼に、活動に参加してみようという意欲が湧くような「見てもらえる展示物」の作成を目指し、豊富な作例からデザインやレイアウトの基礎を学んでもらうことを目的として実施。

講座名・日時	参加人数
話せる・伝わるプレゼンテーション講座 平成29年5月12日(金)14時~15時30分	18名
わかりやすいプレゼン資料の作り方講座 平成29年5月21日(日)14時~16時	8名
災害ボランティア活動入門講座 平成29年10月29日(日)13時30分~16時30分	19名
認知症サポーター講座(社会福祉協議会と共催) 平成29年12月10日(日)10時~11時30分	13名
展示物デザイン講座 平成30年2月18日(日)13時30分~15時30分	18名

▶がんばろう基金（継続）

平成20年度に設置された基金で、市民が自発的に行う公益的な活動に対し、支援するため、市民の寄付と市が定める額を積立てているもの。これを原資に公募型補助金制度を通じて市民活動団体に財政的な支援を行っている。

【積立残高】

32,117,000円	平成29年5月31日時点
-------------	--------------

【過去3年の寄附状況】

平成27年度	85件	4,203,540円
平成28年度	205件	17,400,000円
平成29年度 (平成30年1月末現在)	47件	3,990,000円

▶がんばる市民公益活動応援補助金（継続）

この制度は、がんばろう基金を原資として平成21年度より市民の自発的な特定非営利活動を財政面で支援することにより、市民活動を活発化し、市民主体のまちづくりの進展に寄与することを目的とするもの。8年間、のべ30団体551万円の支援を行った。

申請件数は年度によって変動はあるものの、平成26年度までの過去6年間の申請団体は平均4団体であったが、平成27年度7団体、28年度7団体、29年度も8団体の申請があり、市民活動支援センター開設の影響等により増加傾向にある。

【平成29年度実績】

1. 補助金の募集・審査

事業説明会	3月21日（火） おづぶらざ(市民活動支援センター)	4団体
申込み受付	3月21日（火）～4月28日（金）	8団体
審査会	6月18日（日） 泉大津市役所（3階大会議室）	参加者 21名



審査会の様子



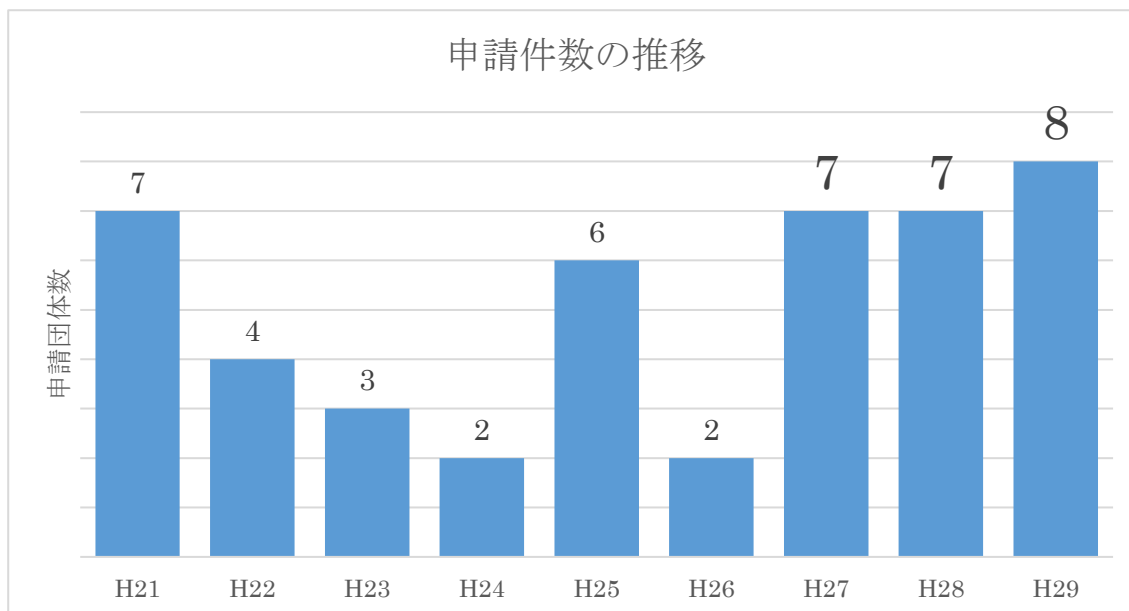
2. 平成 29 年度補助事業認定申請

	申 請		交付決定額	
自立促進事業	4 事業	758,120 円	3 事業	458,120 円
活性化事業	4 事業	854,915 円	4 事業	854,915 円
新規事業	0 事業	0 円	0 事業	0 円
合計	8 事業	1,613,035 円	7 事業	1,313,035 円

3. 平成 29 年度認定事業 (順不同)

事業名 (交付決定額)	内容	団体名
地域食育活動 (118,520 円)	親子参加でジャガイモ等の植え付けや収穫等を行い、食育を通じて思いやりの心をはぐくむ。	松下食育農業塾
E F F Cクラブ (192,600 円)	地域の子どもたちに英語を楽しんでいると感じ、好きになってもらうことで「真の国際人」として活躍できる人材を育成する。	E F F C
地域の触れ合いと支え合いを実現する事業 (200,000 円)	地域の高齢者や子育て中の方などが気軽に立ち寄れる憩いの場を作り、地域で互いに助け合い、支え合う仕組みを作る。	特定非営利活動法人 泉大津市 和花
わかばクラブ事業 (351,840 円)	放課後の空き教室等を利用し、地域住民等を講師として派遣することで学習の楽しさを伝える。	NPO 法人わかばの森アフタースクール
絵本がつなぐ 心と心 (153,075 円)	絵本を媒体として地域のコミュニティ作りを目的に絵本ひろばや読み聞かせなどの活動を通じて読書意欲を高める。	絵本の会 ぽっかぽか

事業名 (交付決定額)	内容	団体名
まちかど本箱で人とつながる地域コミュニティー活動事業 (147,000 円)	まちかど本箱設置の促進や、本に関わるイベントを開催することで、本を通じて世代を超えた交流を図る。	まちライブラリー ホンノウ
地域猫活動 (150,000 円)	のら猫を増やさないため、TNR活動 (捕獲・不妊去勢手術、元の場所に戻す) や一時保護等を行う。	ねころじの会



▶地域コミュニティ活性化補助金 (継続)

市民公益活動の促進のため、自治会その他の地域住民の組織する団体が行うコミュニティ活性化を目的とした活動に対して補助金制度を創設し、平成28年度は5団体が補助金を活用し地域コミュニティ活性化のための事業を展開した。

平成29年度については昨年度より6団体増の11団体に補助金を交付する予定。

【平成28年度実績】

申請団体数	交付決定団体数	交付確定金額
6	5	332,719円

【平成29年度実績】

申請団体数	交付決定団体数	交付決定金額
11	11	725,600円

【平成29年度内訳】

団体名	事業名	交付決定金額
旭校区まちづくり協議会のあり方を考える検討会	旭校区まちづくり協議会のあり方を考える検討会	50,000円
本町自治会	三世代交流本町フェスタ	100,000円
松之浜町自治会	カフェ松風	100,000円
浜助松自治会	浜助松自治会活性化と未加入者への勧誘促進策	40,000円
東豊中町上自治会	自治会員交流イベント事業	25,000円
宇多之庄自治会	親睦餅つき・善哉・ゲーム大会	100,000円
条南町自治会	自治会員加入促進事業及び町内ふれあいの会	100,000円
宇多自治会	自治会の垣根を越えた町内親子ペアボウリング大会	47,600円
池浦町自治会	池浦町連合子供会歓送迎会	50,000円
アルザ自治会	アルザフェスタ2018	50,000円
下条町自治会	ふれあいまちつき大会	63,000円

## ▶セーフコミュニティ活動の推進（継続）

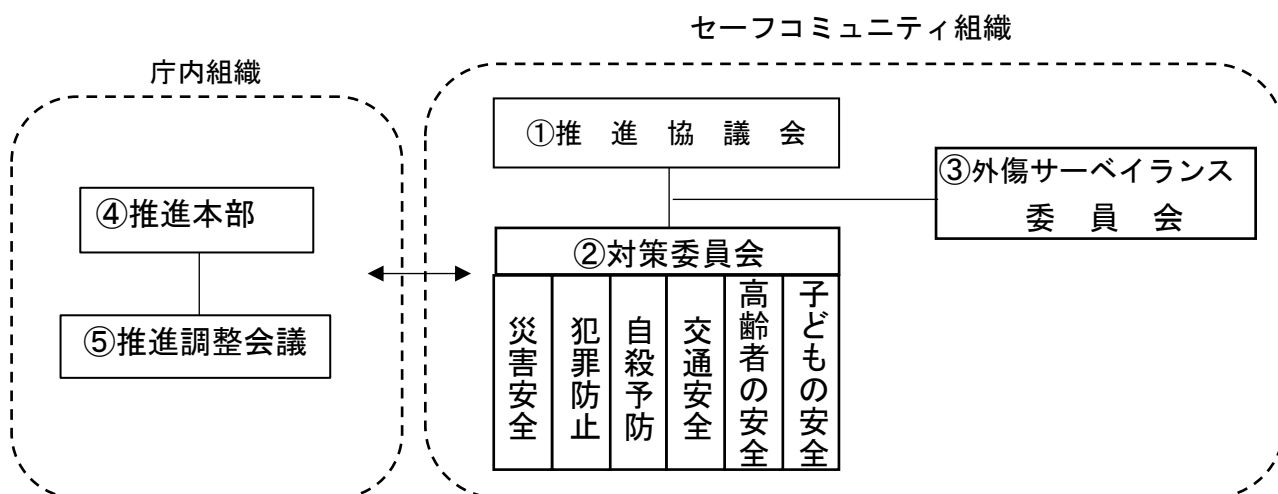
### 【目的】

セーフコミュニティ活動とはWHO（世界保健機関）のセーフコミュニティ協働センターが推奨する安全・安心なまちづくりの取組のことで国際認証制度が設けられている。活動理念は事故やけがは偶然に起こるのではなく、予防できるというもので、活動にあたっては行政や医療機関、警察、地域活動団体や市民が協働で安全で安心して暮らすことができるまちづくりを進める。この取組を通じて地域コミュニティの活性化を図る。

### 【これまでの経過と今後の予定】

平成26年6月に活動に取り組むことを宣言。その後、6つの重点テーマを設定し、各対策委員会でその対策を検討及び取組みを進め、平成27年10月の事前審査を経て、平成28年8月に本審査を受け、10月に認証取得。

### 【組織図】



#### <セーフコミュニティ組織>

- ①推進協議会：地域団体、警察、消防、行政等で構成された分野横断的な推進組織
- ②対策委員会：重点テーマの分野別委員会で地域団体、行政機関など分野横断的なメンバーで構成
- ③外傷S委員会：医療関係機関、警察、保健所等で重点項目のデータ収集分析検証、評価助言機関

#### <市内組織>

- ④推進本部：市内の部長等で構成
- ⑤推進調整会議：各対策委員会のテーマに関連する課長等で構成

【対策委員会委員構成】

	地域 団体	医療 関係	一般 市民	学識 経験	学生	教育 機関	福祉 関係	民間 企業	行政 機関	市職	合計
交通安全	6		2			1		1	2		12
高齢者の安全	4	2		1			2	2		2	13
災害安全	9	1	1		2		2		2	2	19
子どもの安全	5					3			0	4	12
自殺予防	4	1	1	1			2		3	5	17
犯罪防止	9		1					1	1		12
<b>総 計</b>	<b>37</b>	<b>4</b>	<b>5</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>6</b>	<b>4</b>	<b>8</b>	<b>13</b>	<b>85</b>

【会議開催実績】

組織名	回数		
	H29	H28	H27
推進協議会	2	2	3
外傷S委員会	2	4	4
<b>合計</b>	<b>4</b>	<b>6</b>	<b>7</b>

対策委員会名	回数		
	H29	H28	H27
交通安全	7	8	12
高齢者の安全	8	5	10
災害安全	5	4	11
子どもの安全	8	7	11
自殺予防	3	8	10
犯罪防止	4	5	10
<b>合計</b>	<b>35</b>	<b>37</b>	<b>64</b>

現地調査の様子



## ▶自治会活動の活性化（継続）

本市の自治会加入率は平成29年4月現在、85団体18,736世帯で、市全世帯数に占める加入世帯割合は55.46%となっている。平成19年に比べ、約10%低下している。このため、平成25年8月に加入促進専門部会の設置し、加入促進策について検討している。「自治会の魅力を高める」「情報を発信する」「未加入者への働きかけ」の3つの基本的な方針に基づき、自治会と市との協働により取り組みを進めている。

## 【平成29年度実績（予定含）】

事業名	内 容
自治会加入促進支援事業	新規加入者の獲得に取り組む単位自治会に対して、奨励金の支給をはじめ意見交換会の開催や加入促進の手引きを活用し、必要なノウハウ等の提供など支援を実施。
防犯カメラ設置等補助金事業	平成27年度より自治会の防犯カメラ設置に対する補助金事業を実施、29年度12団体23基（28年度は19団体48基、27年度は29団体78基）に対して補助した。3か年で149基の設置に至った。
自治会間境界における防犯灯設置促進事業	宝くじ助成金を財源に自治会間の境界における未設置箇所を中心に防犯灯21基を設置。
加入促進啓発ポスター・リーフレットの掲示及び配布	自治会の加入を啓発するポスターを市内574箇所の自治会掲示板に貼付。 加入促進協定に基づき宅建協会泉州支部市内71社に対し啓発ポスター、リーフレットを送付し、転入者等への加入働きかけを依頼。
自治会活動紹介パネル展の開催	3月19日～30日市役所1階ロビーで自治会活動をパネルで紹介する展示イベントを開催。
パークゴルフ大会開催	10月28日に自治会員同士の親睦を図ることを目的に開催した。

## ▶まちづくり協議会設立支援（継続）

市民ニーズの多様化・高度化が進むなか、こうした状況に対応するためにも、市民が自主的、自立的に、まちづくりを担っていくことが求められる。一方、ボランティアに対する市民意識の高まりに加え、また団塊世代の大量退職時代を迎え、地域に目を向ける市民が多く見込まれるなか、地域活性化の大きな原動力として市民の自発的な活動が促進される仕組みをつくることにより、市民の地域への愛着心を醸成し、ひいては地域活性化及び定住促進に寄与することを目的とする。

### (1) 事業内容

平成 28 年度より旭校区をモデル地区として、地域住民、子ども会を含む自治会などの地域団体、PTA を含む学校関係、その他公益的な活動をしている各種団体等が参加して、ゲストスピーカーによる講演会、ワークショップ等の開催等を通じて、参加者のまちづくりにおける認識の共有を図ると同時に、自らが主体的に話し合う場を設けるなど主体的にまちづくりに参加できるよう仕組みをつくるための支援を行う。

### (2) 事業後の展望

本事業を通じてまちづくり協議体の設立モデルをつくるため、次年度以降は具体的な設立に向けた準備を行う。今後、各地区において地域の実情に合わせた協議体の設立支援を行い、市全体として持続可能な市民主体のまちづくりを推進していく。

### 【平成 29 年度実績】

日 程	内 容
第 4 回 4 月 12 日	事業趣旨説明・意見交換及び今後のスケジュールの調整
第 5 回 5 月 24 日	各団体の課題抽出、今後の方向性を検討する
第 6 回 7 月 18 日	校区内の活動の分類、今後の方向性を検討する（グラフィックファシリテーターの活用）
第 7 回 11 月 25 日	校区協議会の必要性について、委員内の認識の共有、意思統一を図る。 （グラフィックファシリテーターの活用）



検討会の様子



グラフィック議事録

【平成 28 年度実績】

日 程	内 容
第 1 回 11 月 25 日	事業趣旨説明・意見交換及び今後のスケジュールの調整
第 2 回 12 月 13 日	先進事例について学ぶ NPO 法人えのもと地域活動協議会 (大阪市鶴見区)
第 3 回 2 月 15 日	先進事例について学ぶ 山本小学校区まちづくり協議会 (八尾市)

## 人材の育成（第 14 条）

### ▶講演会・セミナーの開催（継続）

市民及び職員を対象に市民協働の意識の啓発・醸成・地域人材育成の第一歩として市民協働に関する講座を実施。

【平成 29 年度実績（予定含む）】

事業名	場所	日時	題目	定員
地域活性化セミナー	テクスピア大 阪 4 階 401 会議室	3 月 19 日 19 時～21 時	新たな担い手を 呼び込むヒント をもらおう！	80

### ▶職員研修（継続）

【平成 29 年度実績】

事業名	場所	日時	題目	参加 人数
新規採用職員研修	おづぶら ざ	5 月 11 日 16 時～17 時	協働による地域コミュ ニティ活性化について	18

### ▶元気な泉大津づくり地域人材育成支援事業（拡充）

市民等の市政への参画及び市民公益活動の活性化を図るため、市民や公益活動団



体が市職員とともにまたは、自らが全国の先進的な取り組み等を学ぼうとする場合に、その要する費用を市が一部または全額を補助する。

【平成 29 年度実績（予定含）】

申請件数	補助対象人数	補助金額
2	5	153,268 円

※個人申請はなし

## 平成30年度の主な取組み

事業名	がんばる市民公益活動応援補助金事業（制度改正）（案）
事業の実施予定時期	平成30年4月～
事業の趣旨・目的	<p>市民の自発的な特定非営利活動を支援することにより、市民活動を活発化し、泉大津市内が元気な市民活動であふれ、市民主体のまちづくりの進展に寄与することを目的に、市民活動団体が行う公益的な事業に要する経費の一部を補助する。</p> <p>この事業は平成21年度に創設されてから、約3年ごとに制度の見直しを行っており、平成30年度より、市民活動団体のさらなる自主運営を促すために、補助期間の延長並びに、地域における人材育成の推進を図るため、市民の地域づくりに関する知識及び技能の習得、人脈の構築等を目的とした事業に対し、一部を補助するよう制度を拡充する。</p>
制度の概要	<p>制度の種類</p> <p><b>(1) 自立促進支援事業補助金</b>          立上期における市民活動の自立を図る目的で実施。  <u>設立5年未満（3年から5年に拡充）の団体が補助対象。</u>          対象事業は、市民活動団体の設立や活動準備に要する事業、市民活動団体の運営に要する事業及び、具体的な市民活動に要する事業。  <u>補助期間は最長5か年（3年から5年に拡充）。</u></p> <p><b>(2) 活性化事業補助金</b>          市民活動の継続と活性化、団体の自立強化、市民理解の増進を図る目的で実施。          設立3年以上の団体が補助対象。          対象事業は、団体の運営または自立の強化に要する事業          継続的な市民活動の推進に要する事業及び、団体が取り組む活動に対する市民理解の推進に関する事業。          補助期間は最長3か年。</p> <p><b>(3) 人材育成事業補助金（新設）</b>          地域リーダーなどの地域で活躍できる人材を育成する目的で実施。          対象事業は、①研修等の開催に関する事業（啓発事業）          ②活動または事業への指導及び助言を得るための専門家招へいに関する事業（専門家招へい事業）          ③活動または事業の企画立案のための調査研究に関する事業（調査研究事業）</p>

	<p>④専門的な知識及び技能の習得のための講習会などの開催に関する事業（能力開発事業）</p> <p>以上4点のいずれかに該当し、かつ補助対象団体が新たに行う事業。</p> <p>補助期間は単年度。同一団体につき3回までの補助。</p>
--	--

事業名	広報いずみおおつ等への市民活動団体情報掲載基準（案）
事業の実施予定時期	平成30年度中
事業の趣旨・目的	<p>泉大津市参画及び協働の推進に関する条例第12条及び第13条に基づき、泉大津市内で活動する市民活動団体への支援及び市民の社会貢献活動への参加の機会を広げることを目的として、広報いずみおおつ、市ホームページ、その他市が運営する広報媒体への掲載希望の申出があった団体に対して、その団体の活動に関する情報等を掲載する際の基準に関し、必要な事項を定めるものとする。</p>
掲載基準	<p>(対象団体)          広報いずみおおつ等に掲載できる団体          泉大津市団体登録要綱（平成25年泉大津市公告第21号）に基づき登録している団体。</p> <p>(掲載できる要件)          広報いずみおおつ等に掲載できる事項は、原則として、泉大津内において実施されるもので、次の各号の要件を満たすものとする。</p> <p>(1) 団体の規約又は会則等の内容に沿った事業であること。          (2) 営利活動、宗教活動及び選挙活動を含む政治活動を目的としたものでないこと。          (3) 入場料等、当該事業への参加のために参加者が負担する経費が3,000円以下であること。</p> <p>(掲載できる回数)          広報いずみおおつ等に掲載できる回数は、一団体につき年度内3回までとする。</p> <p>(掲載の申請)          広報いずみおおつ等に掲載を希望する者は、掲載申請書（様式第1号）を2月前の1日から15日までの間に市民活動支援センターに提出するものとする。</p> <p>(公共施設への掲示・配架)          当該掲載内容の事業ポスター・チラシ等の掲示・配架を希望する場合は、市が指定する施設を利用して掲示・配架するものとする。          (※本基準は市民協働推進課において可否を決定し、秘書広報課に依頼する際に適用するもの)</p>